

V 各種会議経過

1 萩野地区小中一貫教育推進協議会

(1) 第9回(6月19日(水)、萩野地区公民館)

- ① 実施計画策定経過について
- ② 各検討部会から
 - ア 校名・校章・校歌・制服等検討部会
一貫教育校総称公募結果について
萩野学園、桜学園、ひばり学園の候補が多かった。
 - イ カリキュラム等検討部会
 - ウ 施設設備等検討部会
- ③ 質疑
 - ・一貫校の冷房設備の予定について
→現在のところ特別教室を中心に考えており、教室への配備は考慮していない。
 - ・工事が完了するまでのグラウンドについて
→平成26年度の中学校は、グラウンドが使えないので、泉田小と調整していく。
部活動は、他の施設も利用していく。
 - ・校舎工事が始まる前に、地区民に説明をして欲しい。他

(2) 第10回(10月28日(月)、萩野地区公民館)

- ① 一貫教育校総称選定経過等について
- ② カリキュラム等について
- ③ 一貫教育校の制服の業者選定等について
- ④ 質疑
 - ・制服の着用学年は、なぜ、小学校5年生からなのか。
 - ・小学校1年から4年が推奨となり、混在するが問題はないのか。
→施設一体型の小中一貫教育校は、制服を小学校から着用している学校が多い。
委員の意見の中には、小学校1年生から制服を着せたいとの意見もあったが、制服は中学生からでよいとのアンケートの結果も考慮し、当面は1から4年は、推奨となった。委員の意見では、萩野学園で進める、あらたな4-3-2のブロック制を丁寧に説明することで、必ず5年生からの制服着用について、理解していただけるという意見があった。
 - ・萩野学園のすばらしさを示して欲しい。
 - ・推進協議会の参加者が少ない。会の持ち方を、平日の夜間ではなく、休日にするなど工夫する必要があるのではないか。周知の仕方も含めて。
 - ・小中一貫教育校について、委員会は学校や地域に足を運んで説明をして欲しい。など

(3) 第11回(12月22日(日)、萩野地区公民館)

- ① 萩野学園校章について
公募状況、審査経過、
- ② 建設工事等の進捗状況について
工事進捗率(11月末現在は全体出来高実績4.1%、計画6.1%)
- ③ カリキュラム等関連報告について
- ④ 制服、ジャージ等の選定について
 - ・制服、ジャージ、カバン、シューズの最終決定内容について
 - ・制服等導入一覧
- ⑤ 質疑
 - ・スクールバスについて、泉田赤坂方面のバス運行について。
 - ・制服ワッペンに、校章を入れるのか。
 - ・校章の色はどうなっているのか。
 - ・日曜日の開催にも関わらず参加者が少ない。今後の開催について。他

2 学校づくり協議会

(1) 萩野小学区学校づくり協議会(5月15日(水)、萩野小学校多目的教室)

- ① 協議会の設立について
- ② 学校づくり協議会収支予算案について
- ③ 質疑
 - ・跡地の管理について
 - ・現校舎、体育館の耐震化及び活用の可否について
 - ・学校林の収益金の予算化と活用について
 - ・閉校記念事業について など

(2) 泉田小学校づくり協議会(7月11日(木)、泉田小学校図書室)

- ① 新庄市の小中一貫について
- ② 萩野地区小中一貫教育校の教育課程
- ③ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明
- ⑤ 質疑
 - ・新しい校舎、泉田小跡地との連絡路は使用するか。
 - ・テニスコートの管理はどうするのか。
 - ・4-3-2制とは、どのような教育か。
 - ・跡地には遊び場となるようフィールドアスレチックなどを設置して欲しい。

(3) 昭和地区学校づくり協議会（7月30日（火）、昭和地区活性化センター）

- ① 実施計画策定委員会部会・作業部会構成
- ② 実施計画策定委員会、部会検討経過
- ③ 各部会の検討事項と進捗状況等
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等
- ⑤ 質疑
 - ・昭和小のグラウンドも利活用して欲しい。
 - ・若い親子の遊べる遊び場、大きな遊具が欲しい。
 - ・昭和小の校舎を活用したいとの構想もでてきているようである。など

(4) 小中一貫教育校開校に向けての全体保護者会

- ア 新庄市の小中一貫について
イ 萩野地区小中一貫教育校の教育課程
ウ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会
エ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明

- ① 昭和小学校（7月16日（火）、会議室）
- ② 萩野小学校（7月24日（水）、体育館）
- ③ 萩野中学校（7月25日（木）、体育館）
- ④ 質疑
 - ・一貫校のPTA組織について 他

(5) 萩野学園学校説明会（12月15日（日）、萩野中学校体育館）

- ① 校名、校章、校歌等について
- ② スクールバスの運行等について
- ③ 施設・設備等について
- ④ 萩野学園の教育内容について
- ⑤ 制服・ジャージ等について
- ⑥ 質疑・応答
 - ・スクールバスの運行について詳しく説明して欲しい。
 - ・学童保育所は外部委託か。
 - ・制服が、5年生からの着用となっているがなぜか。
 - ・小学校1年生から4年生は推奨となっているが、5年生からでよい。など
- ⑦ その他
 - ・当日は、制服、ジャージ、カバン、シューズの展示も行われた。
 - また、事務局も含め約110名の参加者があった。

3 新庄市小中一貫教育推進協議会

(7月10日、新庄市小中一貫教育シンポジウムにて提案、承認される)

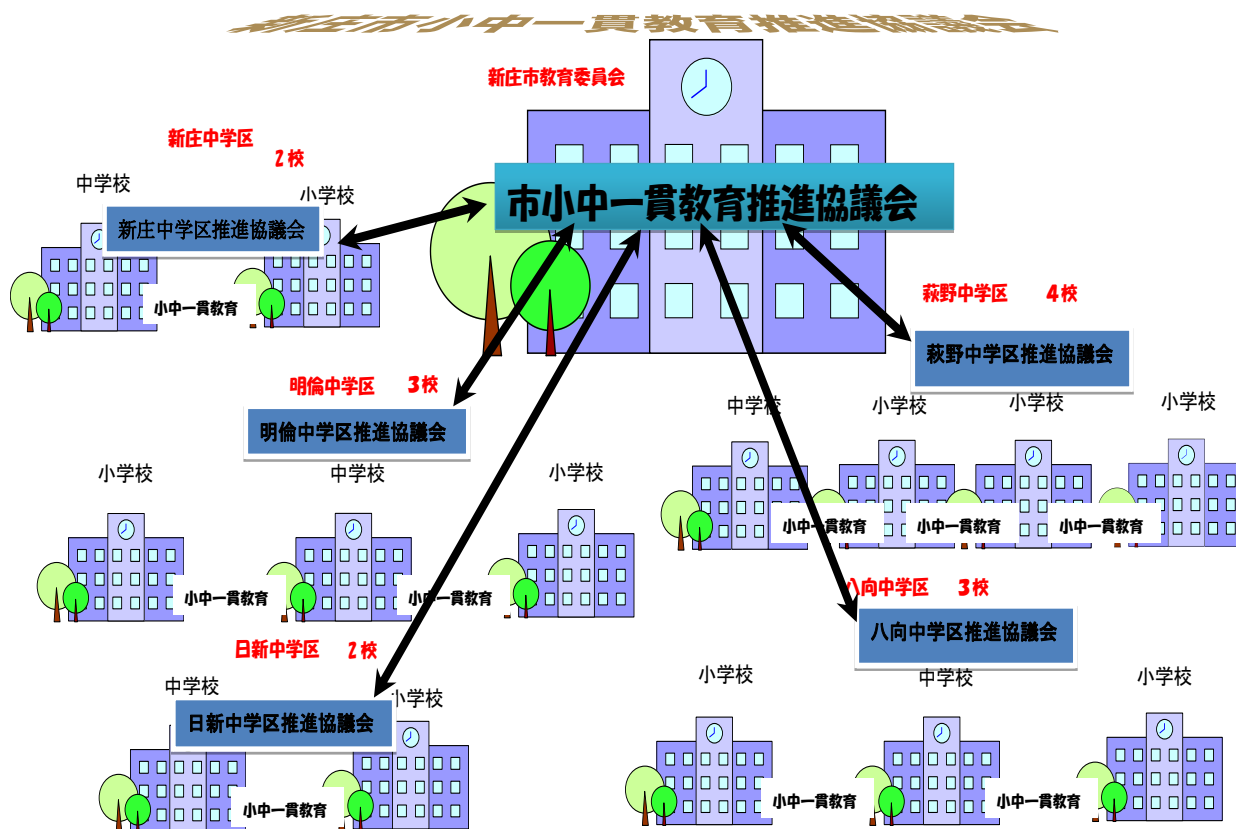
- (1) 新庄市の小中一貫教育のよりよい在り方についての検討、各中学校区の実践の交流、学校への支援を行う、「新庄市小中一貫教育推進協議会」を設置する。
- (2) 各中学校区における小中一貫教育の在り方を具体的に検討し、中学校区の実践を支える「中学校区小中一貫教育推進協議会（仮称）」を、設置する。
- (3) 各学区の設置状況をふまえながら、上記の組織を、平成25年度中に全中学校区に設置し、平成26年度からの運用に努めたい。

提案理由)・平成18年度以降、新庄市の各校、各中学校区での小中一貫教育は、着実な成果をあげてきている。

今後更に、各中学校区の実践を地域に発信し、保護者や地域の方からも、小中9年間のスタンスで支えていただくことで、小・中学校の一貫教育の実践が更に充実することが期待できる。

そのねらいに迫るため、「新庄市小中一貫教育推進協議会」と、「中学校区小中一貫教育推進協議会（仮称）」の設置を推進する。

新庄市小中一貫教育推進協議会



4 市議会関係会議（総務文教常任委員会：12月11日（水））

（1）9年間を見通したカリキュラム

平成26年度のカリキュラム等検討部会2年目の取組課題について
北部地区の先生方や実施計画策定委員会に説明及び提案をしていくが、最終的には、一貫教育校の学校経営案に載せる体裁と内容を意識して検討する。

- ・ 発達段階に応じた学年区分（4－3－2）を生かした指導
- ・ 教科担任制の指導の在り方
- ・ 教科教室制の指導の在り方
- ・ 小から中への区切りの欠如対応
- ・ 卒業式と修了式、入学式
- ・ 日課表の検討
- +
- ・ 基本カリキュラムの再検証
- ・ 一貫教育校の組織づくりと分掌計画の策定

（2）部会等の開催と検討経過の説明

時系列に各種会議経過について報告

（3）制服・ジャージ等の選定

萩野学園の開校に向け、制服等についての検討を続けて、制服業者と制服着用学年等について決定されたことを報告する。
あわせて、ジャージ、かばん、シューズの選定結果についても説明する。

5 小中一貫教育シンポジウム（7月10日（水）、ゆめりあアベージュ）

（1）第一部 情報交流

- ・ 協議（小中一貫教育推進協議会の設置について）
新庄市の小中一貫教育について
平成25年度各中学校区の小中一貫教育について
今後の小中一貫教育について他

（2）第二部 シンポジウム

○テーマ 『小中一貫教育で、支え学び合う学校をつくる』

- ・ シンポジスト 大石田町立大石田中学校 校長 伊藤 憲一 氏
（小中一貫教育校 大石田町立大石田学園 大石田中学校長）
新庄市立昭和小学校 P T A会長 石井 昭一 氏
（萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員）
新庄市立八向中学校 校長 佐藤 幸正 氏
（八向中学校区小中一貫教育取組校、市教委委嘱研究校）
- ・ コーディネーター 新庄市教育委員会 学校教育課長

(3) アンケートから

- ・ いろんな立場から小中一貫について率直な意見が交流できてよかった。
- ・ 意見 交流のパネラーが本音を交えながら意見発表していたのがよかった。
- ・ 3部構成（発表→報告→意見交流）の流れも内容もそれぞれよかった。
- ・ 今後も続けて欲しい。
- ・ シンポジスト（保護者）のお一人が反対の意見を述べた。そこをしっかりと聞いて不安を無くしていくことが一貫教育の前進につながる。
- ・ 連携がうまくいっても学力が向上しないといけない。など